

美術科学習指導略案

授業者 宣 昌大

1. 日時 令和5年2月4日(土)
2. 場所 大阪教育大学附属天王寺中学校 美術教室(南棟)1階
3. 学年 第2学年
4. 題材名「魅力を伝えるパッケージ」(使用図書:日本文教出版、『美術2・3下』, pp. 38-39)
5. 題材設定の理由

・生徒観

伝達の効果を理解するため、第1学年では、オリジナルフォントを用いた飾り文字による文字の形の工夫から内容を伝える学習をしている。また、第2学年1学期では、感情に関わる文字を白抜きした単語カードを用い、その単語の意味がより伝わる色彩の効果を考えた文字内への着色から、色彩が感情へ及ぼす効果を学習している。

しかし、これまでは文字を通した効果を主眼に置いた題材であったため、本題材を通して、制作の順序などを総合的に考えながら見直しをもって創造的に表す能力、想定した他者へ形や色彩の効果をを用いて伝達する能力を育む必要がある。

・教材観

家庭科の調理実習で作るスイートポテトをよりよく見せること、持ち帰るための機能性を兼ね備えたパッケージ制作に取り組むことで、伝達の効果と構造を考える。また、パッケージデザインのテーマを「身近な誰かへ贈る」とすることで、鑑賞や制作を通して、他者へ想いを伝えるための魅力や工夫について気づき、発見する視点を育む。

・指導観

伝える、使うなどの目的や機能を考え、表現する活動において、テーマを基に使う側の立場でみつめ考えることから発想し、構想を練る必要がある。また、発想したことを作品にする際、ある一定以上の知識・技能が必要となる。そこで本題材ではまず、形と色彩によって商品の魅力を伝えていると思うパッケージデザインのレポートを課し、魅力を伝える工夫を探索させる。また、それらの相互鑑賞も通して今後のパッケージデザインの構想に生かす。次に、思いついたアイデアを形にするため、事前に市販の型紙を用いた8種類のパッケージづくりを体験する。しかし、1人で8種類の体験は学習効率として限界があるため、協調学習であるジグソー法を援用し、エキスパート活動を行う。4人ひとグループの学習班から1人2種類のパッケージづくりを体験し、作品制作時に習得した知識・技能を交流、補完し合うことで知識・技能の習得と定着をねらう。



体験する8種類のパッケージ

6. 単元目標

●使う目的や条件を基に、相手への想いと機能性などを総合的に考えられるようにする

(1) 【知識及び技能】「A 表現」(2) ア(ア)(イ)、〔共通事項〕(1) ア、イ

- ・形や色彩、材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果、パッケージの造形的な特徴などを基に、全体をイメージで捉えることを理解すること。
- ・意図に応じてパッケージの造形的な表現方法を創意工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表すこと。

(2) 【思考力、判断力、表現力等】「A 表現」(1) イ(ウ)、「B 鑑賞」(1) ア (イ)

- ・使う目的や条件などを基に、使用する者の立場、地域との関わりなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。
- ・目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。

(3) 【学びに向かう力、人間性等】

- ・主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、使用する人々に対して手づくりスイートポテトの魅力を分かりやすく伝えること、梱包・運搬といった用途などを基に、表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組む態度を養う。

●評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知形や色彩、材料などの性質及びそれらが感情にもたらす効果や、パッケージの造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>技意図に応じて創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。</p>	<p>発手づくりスイートポテトの魅力を紹介するために、贈る相手や内容などのイメージなどから主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や、分かりやすさと美しさなどとの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練っている。</p> <p>鑑伝達のデザインの調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>態表美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に目的や機能、情報や魅力などを分かりやすく伝えることなどを基に、表現する学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態鑑美術の創造活動の喜びを味わい主体的に伝達のデザインの調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考えを深めるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

7. 単元計画(全 10 時間)

時	◆ <u>学習のめあて</u> ・学習内容	評価			評価方法
		知・技	思	態	
1	◆ <u>パッケージデザインで用いられる形と色彩がどのような効果をねらっているかを考えられる</u> ・インターネット上で公開されているパッケージデザインから、形と色彩それぞれ工夫しているものを1点ずつ選び、その理由を考え、タブレットPCの学習支援ツールにてレポート形式で全体共有する。	知			・レポート【知】
2 ・ 3	◆ <u>様々なパッケージからその作り方の特徴をみつけられる</u> ・パッケージ制作体験の型紙の希望集約。 ・市販の型紙を用いたパッケージ制作体験「パッケージづくりやってみた」①②	技		態表	・パッケージ制作の様子 【技】【態表】
4	◆ <u>これまでの活動を通して、手づくりスイートポテトの魅力を伝え、梱包・運搬するためのアイデアを考えられる</u> ・現段階でのパッケージ制作に関する意識を「はじめと振り返りシート」へ記述。 ・パッケージ制作体験の試作品を班内で相互鑑賞。 ・パッケージデザインのアイデアを練るため、白紙のアイデアシートや画用紙などの紙素材、タブレットPCなど、生徒自ら自分に合った思考方法でアイデアをまとめたり、作りながら考える。	知	発	態表 態鑑	・はじめと振り返りシート 【態表】 ・パッケージの紹介、班での交流の様子 【知】【態鑑】 ・制作の様子 【発】【態表】
5 ～ 9 (本時8)	◆ <u>手づくりスイートポテトの魅力をパッケージデザインで伝えられる</u> ・パッケージ制作。(画用紙で形づくり、画材やタブレットで描く、貼付ける) 【全6回】 ・3回目の制作後、「途中経過シート」を宿題とし、現段階でのアイデアと制作方法について振り返り、4回目で提出する。	知 技	発 鑑	態表 態鑑	・班での交流の様子 【知】【鑑】【態鑑】 ・制作の様子 【態表】 ・途中経過シート 【技】【発】【態表】 ・作品【技】【発】
10	◆ <u>パッケージデザインを通して手づくりスイートポテトの魅力を、他者がどのように伝えているかを知ることができる</u> ・3票の投票を伴う生徒作品の相互鑑賞で、自他の工夫の違いを知る。 ・「はじめと振り返りシート」へ記述	技	発 鑑	態表 態鑑	・鑑賞の様子 【鑑】【態鑑】 ・はじめと振り返りシート 【技】【発】【態表】

8. 本時の授業

(1)目標 ①入っている物とパッケージの関係から、中身と気持ちを工夫して表せられる

(2)評価

●評価規準

- ・意図に応じて創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表している。【知識及び技能】
- ・主題をもとに、形や色彩などが感情にもたらず効果や、分かりやすさと美しさなどの調和、統一感などを総合的に考え、作品に表している。【思考力・判断力・表現力等】
- ・自分が決めた手段をもとに、作品に表すための試行錯誤をしようとしている。【主体的に取り組む態度】

(3)授業過程（本時の展開）

時	◆本時のめあて ・学習内容	指導上の留意点	評価方法【評価規準】
導入 5分	・単元の目標を確認する。		
	◆入っている物とパッケージの関係から、中身と気持ちを工夫して表せられる		
展開 35分	・本時の流れを確認する。		
	・作品制作	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の具による着色では、ドライヤーで乾燥させ、作業効率を上げるよう指示。 ・タブレット PC による画像をプリンタアウトする際、著作権フリーのものを使用するよう指導。 	<ul style="list-style-type: none"> ・班での交流の様子【態表】 ・制作の様子【技】【発】【態表】
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・用具の片付け、作品の材料やワークシートを班ごとに回収、提出。 ・次回の制作へ向けて、を考えておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりのデザインされたものを、日々意識して見るよう促す。 	

9. 参考文献

- ・ジョゼフ・M・ガロフェ, 『箱のパッケージ 最新ベスト 125』, 株式会社グラフィック社, 2017